

マンション内装工程の 遅延防止につながる工夫

EXIMA.31

横浜真栄会 仕上部会

YKKAP株式会社

1. 工事概要

建物用途 : 集合住宅新築工事

・構造 : RC造 地上20階

EXIMビル

・担当工事 : アルミニウム合金製建具工事

2.改善事例

内装工程遅延防止に向けて

- ・目的 : 内装工程全体の遅延防止
- ・着目点 : 職種ごとの施工日数及び進捗具合の確認と伝達

EX-13-1 実施内容 : 全体工程表を職種ごとに細分化

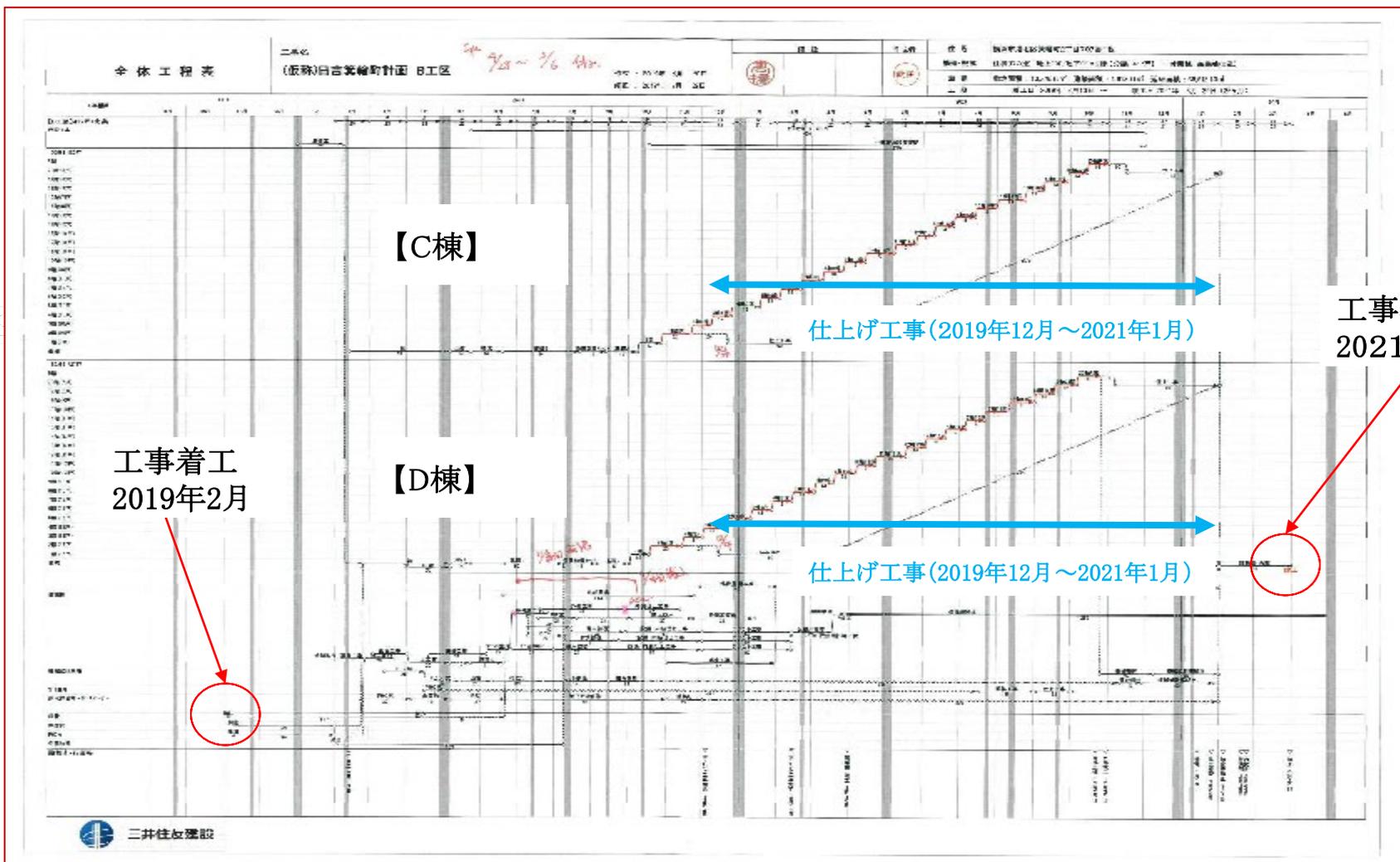
職種ごとの進捗状況の確認

昼打合わせの際に初期工程からの差異を確認

現場担当者及び職長を交えて、
後工程への影響の有無を判断

週間工程の調整を随時行い、
職長会にて修正工程の伝達

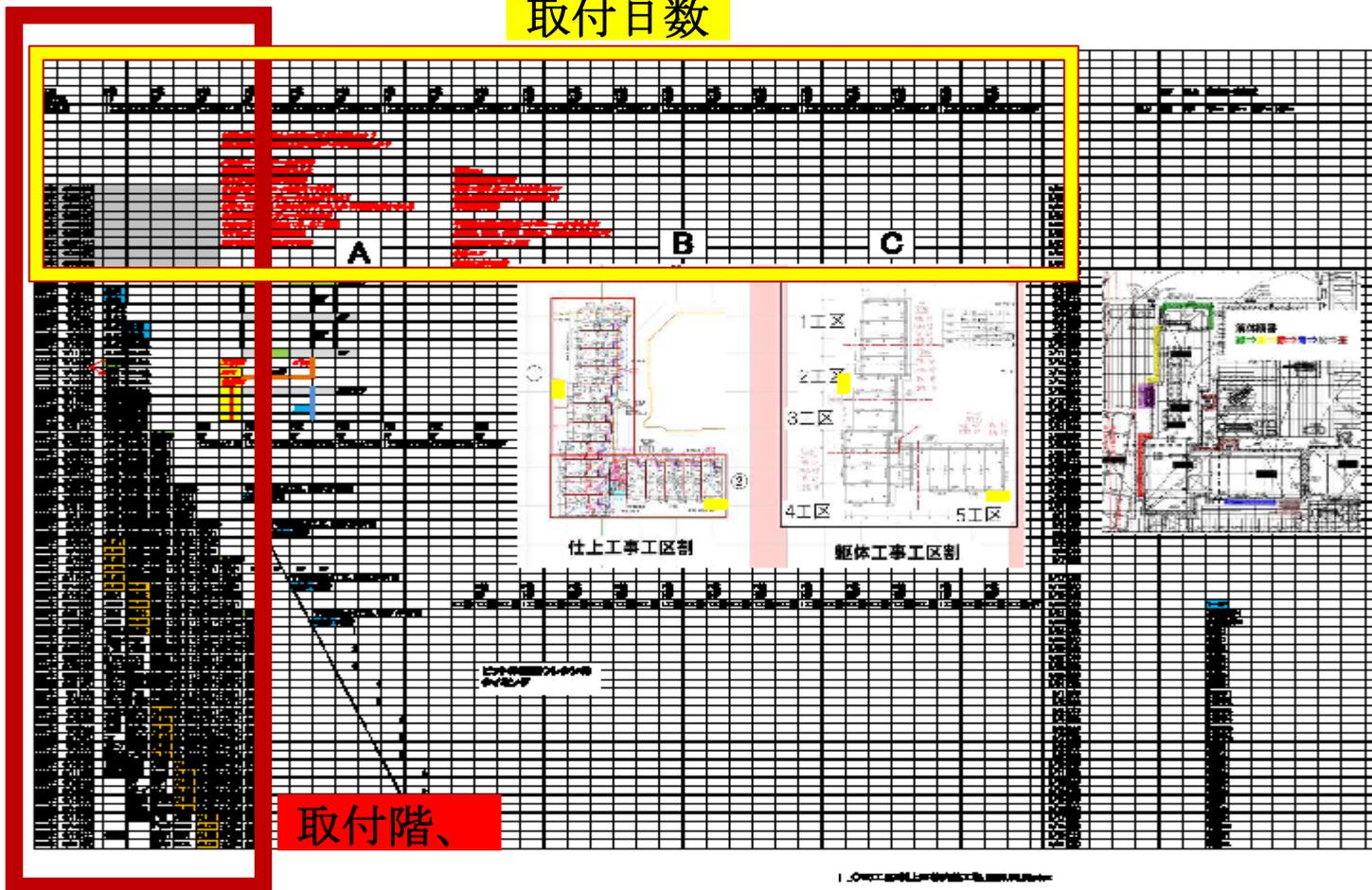
◆全体工程表 B工区



◆職種ごとの細分化工程表

取付日数

1

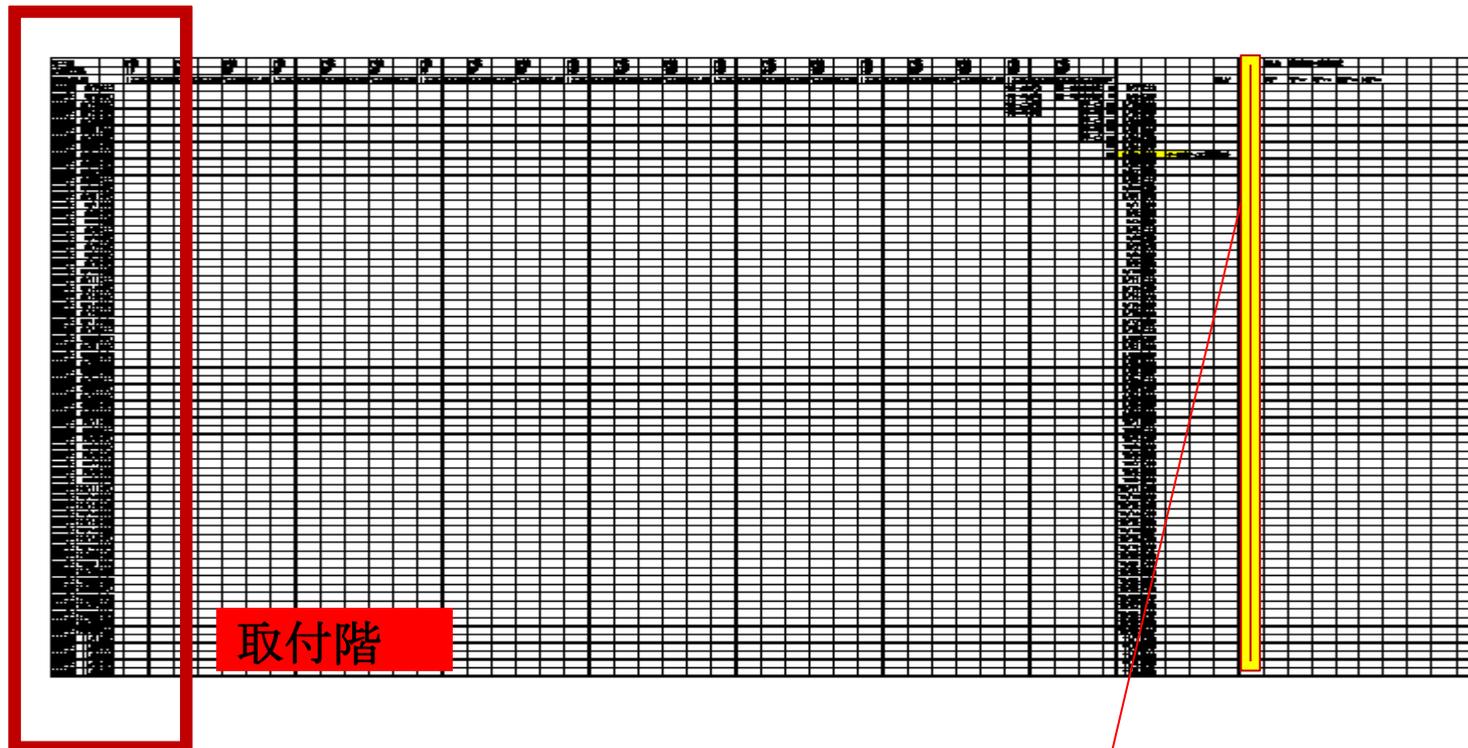


取付階、

AW～内装家具
クリーニングまでの職種振り分け

◆職種ごとの細分化工程表

5

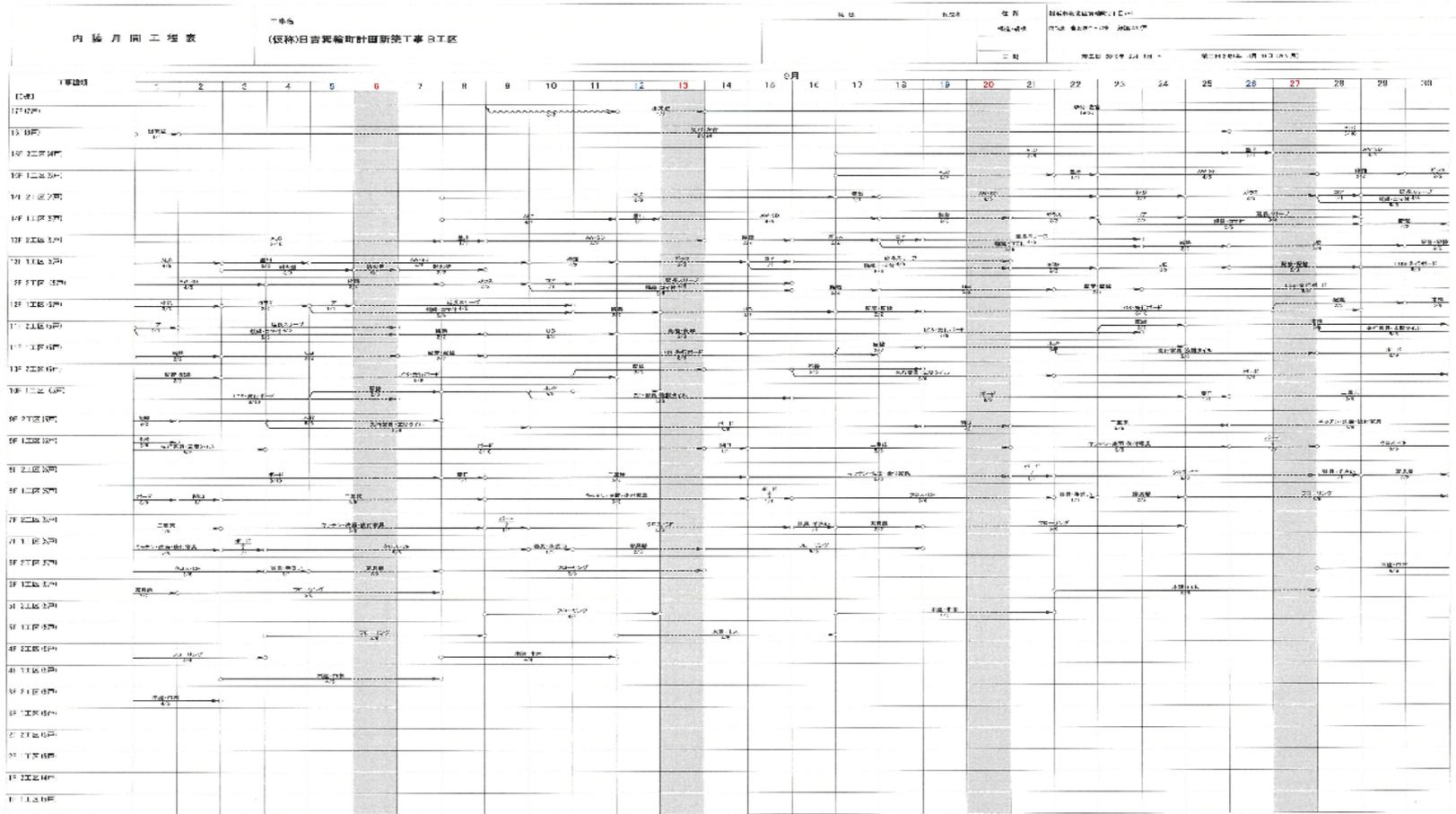


取付階

AW～内装家具
クリーニングまでの職種振り分け

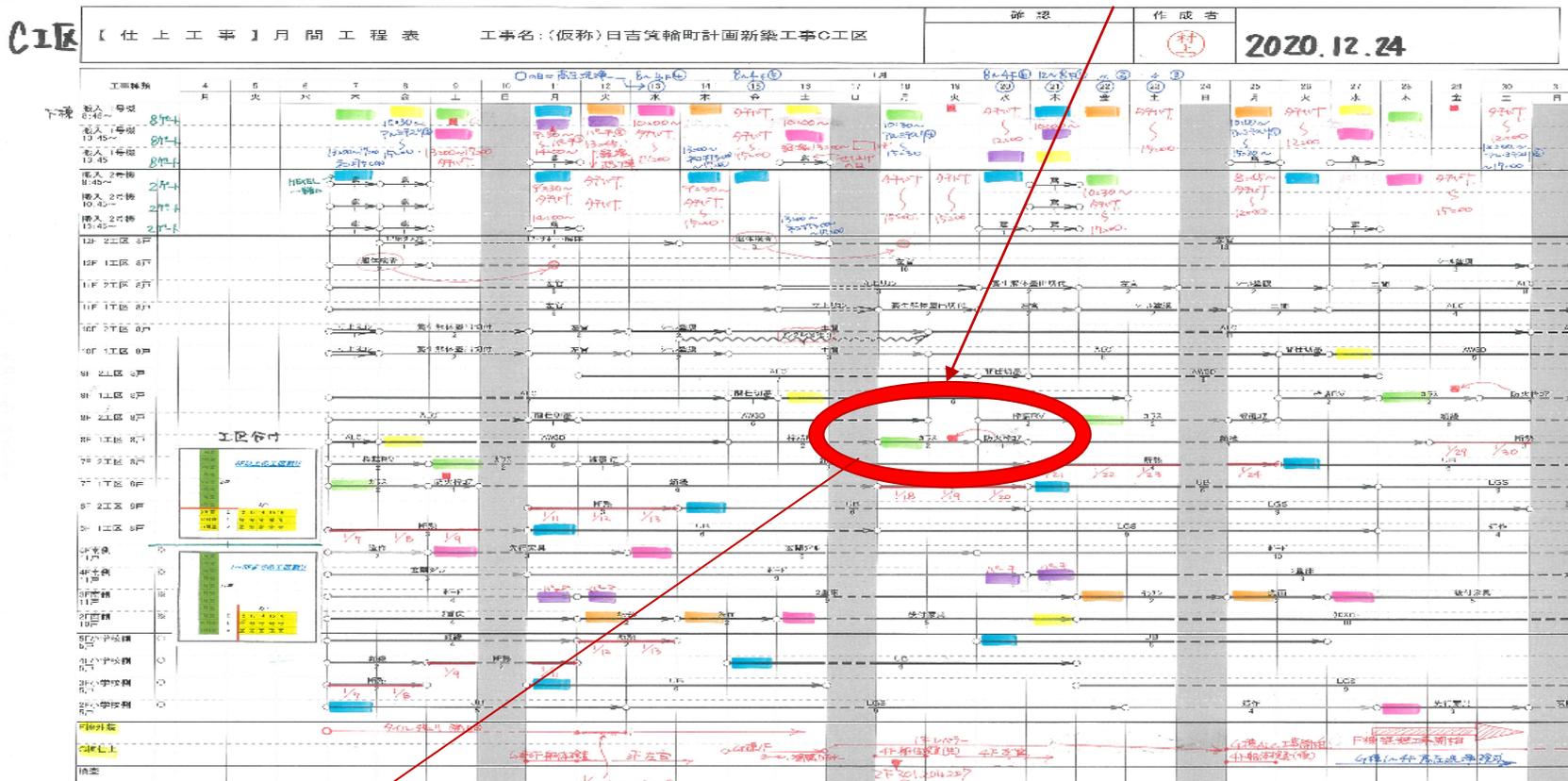
黄色部分が取付完了日

◆週間工程表の確認



◆ 週間工程表の修正

6日サイクルの中で次週のウレタン吹付工程調整の為
ALC及びAWの取付開始日を再検討し1日開始日を短縮
したことで合計2日間の短縮につながりました。



職種ごとの進捗状況に応じて前工程の前倒し、施工日数の調整を行い
週間工程をその場で修正し、後工程への遅延を事前に防止する
打合せ終了後職長会にて修正工程を伝達する

3.実践効果について

現場職員と各職種のスムーズな連携による 工程遅延の防止を図る

- 
- ◆週間工程内での職種ごとの作業量の明確化
 - ◆内装工程全体で職種ごとの遅延防止意識の向上
 - ◆全体工程の遅延防止及び職種ごとの工程推進
 - ◆現場職員と職長のコミュニケーションの増加
 - ◆職種間での連携強化

以上の効果が発揮され、工程遅延の防止に繋がりました。